

# 競 技 注 意 事 項

1 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習について

- (1) 練習は補助競技場（サブトラック）を使用すること。但し、投てき練習は一切禁止する。フィールド種目の練習は、招集完了後競技役員の手配により競技場内で行う。
- (2) 本競技場内での朝の練習時間は、開門～放送等で指示された時間までとする。

3 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンド南側サブトラックへの通路に設ける。
- (2) 各種目の招集開始時刻・招集完了時刻はその競技の開始時刻を基準とする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前

(3) 招集の手順

- ① 招集開始時刻に招集所で競技者係の点呼を受け、その際ナンバーカード・腰ナンバーカード・スパイクの点検を受ける。（腰ナンバーカードは各校で用意する。なお1500m以上の種目及び競歩種目は招集の時に競技者係から配られる。）
- ② 最終点呼の代理人は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人が最初の競技の点呼の際に競技者係に申し出る。その場合に限り、代理人の最終点呼を認める。
- ③ 混成競技については、第1日目第一種目、第2日第一種目と最終種目は招集所で点呼を受ける。他の種目は現地集合（競技開始20分前）とする。
- ④ オーダー用紙は競技者係に提出する。（第1組目の招集完了時刻の1時間前までに）

4 ナンバーカードは胸部・背部ともにしっかりと付けること。腰ナンバーは定められたレーンの番号布を右腰やや後部に付けること。

5 競技について

- (1) レーン、試技はプログラムの記載の番号順とする。準決勝以降の組み合わせ（レーン順・試技順）はすべて番組編成員が公平に抽選して招集所に掲示する。
- (2) スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートした者（チーム）は失格とする。
- (3) トラック競技で同記録の場合、予選・準決勝は抽選を行う。
- (4) 男子5000m 3000mSC 5000mW 女子3000m 5000mWで先頭に一周抜かれた場合はレースを中止することもある。
- (5) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は、下記のとおりとする。
 

(走高跳)	男子	1m50(練習)	1m55	1m60	1m65	…	1m80	以降	3cmきざみ
	女子	1m20(練習)	1m25	1m30	1m35	…	1m50	以降	3cmきざみ
	混成男子	1m25(練習)	1m30	1m35	1m40	…	1m60	以降	3cmきざみ
	混成女子	1m00(練習)	1m05	1m10	1m15	…	1m40	以降	3cmきざみ
(棒高跳)	男子	2m50(練習)	2m60	2m80	3m00	…	3m00	以降	10cmきざみ
	女子	1m90(練習)	2m00	2m10	2m20	…	2m30		10cmきざみ

(6) フィールド競技の決勝での計測記録は次のとおりとする。

	走幅跳	三段跳	砲丸投	円盤投	やり投
男子	5m50	11m00	9m00	23m00	35m00
女子	4m30	10m00	7m00	23m00	23m00

6 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール、やり以外の競技用具は競技場備え付けのものを使用する。
- (2) 棒高跳用ポールは自己のポールを使用する。
- (3) やりは検査をうけて自己のやりを使用する。検査は競技場南器具庫前で競技開始1時間前から10分間おこなう。

7 その他

- (1) 各種目3位までの表彰を行う。成績発表後、直ちに競技場中央通路に集合すること。
- (2) 投てき練習は、審判員の指示により競技場内でおこなうこと。
- (3) 貴重品は各校各自で管理し、盗難には十分に注意すること。
- (4) 各学校の使用した場所は清掃に努め、ゴミは燃えるゴミと資源ゴミ（ビン・缶・ペットボトル）に分けて集め、ゴミを残さないようにすること。
- (5) 本大会の成績によって、男子は各種目7名、ハンマー投は43m00以上、棒高跳は3m00以上の者、女子は各種目6名、ハンマー投は25m00以上、棒高跳は2m00以上の者、競歩および混成競技は男女とも上位2名の者に県大会の出場資格を与える。（リレーは自由参加）なお、+αは5月16日（火）の常任委員会で決定し、後日該当する学校に連絡する。